

ホクコースミレックス®水和剤

■種類名：プロシドン水和剤
■有効成分：プロシドン----- 50.0%
■化管法指定物質：プロシドン〔第1種〕----- 50.0%
ドデシル硫酸ナトリウム〔第1種〕----- 2.2%

■登録番号：第14499号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：1981.03.19
■性状：類白色水和性粉末 63μm以下
■有効年限：5年
■包装：100g×100袋、500g×20袋
1kg (500g×2パック) ×10袋
(北海道のみ、3年)

- 【特長】
- 灰色かび病、菌核病に高い防除効果を発揮する。
 - 予防効果が優れているだけでなく、病斑進展阻止効果もあるので、発病前の予防的使用から初発直後の使用まで広い適期幅で効果が期待できる。
 - 効果の持続性および耐雨性に優れる。また、植物体内での浸透移行性を有する。

【適用内容】(2024 年 11 月末日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	7°Dシドンを 含む農薬の 総使用回数	
小麦	雪腐大粒菌核病	1000	60～150 ℓ/10a	収穫 75 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内	
りんご	モニリア病		200～700 ℓ/10a	収穫 90 日前まで	4 回以内		4 回以内	
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	1500～3000		収穫 30 日前まで	2 回以内		2 回以内	
みかん					3 回以内		3 回以内	
も も	灰星病	1000～1500		収穫 3 日前まで	1 回			
すもも		1000～2000						
おうとう		1000～1500		収穫 14 日前まで	3 回以内			
あんず		1500						
び わ	灰色かび病	1000～2000		収穫前日まで	3 回以内			
マンゴー	軸腐病	1000						
ばれいしょ	菌核病	1000～1500	100～300 ℓ/10a	収穫 21 日前まで	4 回以内		4 回以内	
だいず		1000～2000			2 回以内		2 回以内	
あずき	灰色かび病	1000			4 回以内		4 回以内	
らっかせい		1000～2000						
いんげんまめ	汚斑病				2 回以内		2 回以内	
	菌核病 灰色かび病	1000			6 回以内 (常温煙霧は 2 回以内)		6 回以内 (常温煙霧は 2 回以内)	
きゅうり	つる枯病	1000			収穫前日まで		6 回以内	5 回以内
	菌核病 灰色かび病	1000～2000					5 回以内	3 回以内
すいか	菌核病	1000		収穫 7 日前まで	5 回以内		5 回以内	
	つる枯病	1000		収穫前日まで	3 回以内		3 回以内	
メロン	菌核病	2000		収穫 14 日前まで	1 回		1 回	
かぼちゃ		1000～2000		3 回以内	3 回以内			
にんじん		1500		収穫 30 日前まで	3 回以内		3 回以内	
トマト	灰色かび病	1000～2000		収穫前日まで	6 回以内		6 回以内	
な す	菌核病				5 回以内		5 回以内	
ピーマン	灰色かび病				5 回以内		5 回以内	
	黒枯病				5 回以内		5 回以内	
ししとう		1000		収穫 14 日前まで	4 回以内		4 回以内	
キャベツ	菌核病	2000～3000	収穫 7 日前まで	4 回以内	4 回以内			
レタス	灰色かび病	1000～2000	収穫 7 日前まで	5 回以内	5 回以内			
たまねぎ	灰色腐敗病 小菌核病	1000	2.4 ℓ/10a	収穫前日まで	5 回以内	無人航空機 による散布	5 回以内	
	灰色かび病	16						

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	7°ロシトンを 含む農薬の 総使用回数
にんにく	黒腐菌核病	種球重量の 0.4%	—	植付前	1回	種球粉衣 (湿粉衣)	1回
いちご	菌核病 灰色かび病	2000	100～300 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ねぎ	小菌核腐敗病 黒腐菌核病	1000		収穫21日前まで		株元散布	
たばこ	菌核病	1000～2000	200 ml/株	大土寄時	1回	株元灌注	1回
ズッキーニ			100～300 ℓ/10a	収穫前日まで	6回以内	散布	6回以内
食用へちま		2000		収穫7日前まで	2回以内		2回以内
とうがん							
リアトリス		1000	—	種茎冷蔵保存前	1回	30分間 種茎浸漬	1回

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	7°ロシトンを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	温室、 ビニールハ ウス等密閉 できる場所	灰色かび病	200g /10a	10 ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	常温 煙霧	6回以内 (常温煙霧は2回以内)
なす			250g /10a	5 ℓ/10a		6回以内		6回以内

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布すること。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液など強アルカリ性薬剤との混用はさけること。
- 水溶性内袋入りの製剤を使用する場合は、次の事項に注意すること。
 - ◆ 内袋はぬれた手で触れないこと。
 - ◆ 外袋の開封後は一度に使い切ることが望ましい。やむを得ず保管する場合でも、できるだけ速やかに使い切ること。
 - ◆ 薬液調製の際は、容器内の水に内袋を開封せずそのまま投入し、よく攪拌すること。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
- 定植直後又は幼苗、軟弱苗等には薬害を生じるおそれがあるので使用はさけること。
- 高温時の散布は薬害を生じる場合があるので注意すること。
- トマトは薬害を生じやすいので、下記の注意事項を厳守すること。
 - ◆ 次の条件の場合は使用しないこと。
 - ① 生育が一時停止するような低温にさらされることがある栽培をしている場合。
 - ② 軟弱徒長ぎみな栽培となっている場合。
 - ③ 微量要素欠乏又はその疑いのある場合。
 - ④ 高温多湿条件の場合。
 - ◆ 使用する場合は次の注意を守ること。
 - ① 有機リン剤との混用はさけること。
 - ② 散布液はできるだけ所定範囲内の低濃度(2000倍液)で使用する。
 - ③ 所定の薬量を厳守し、薬量過剰にならないようにすること。
 - ④ 繰り返し使用する場合は散布間隔を十分(14日以上)あけること。
- あぶらな科作物(特に白菜、だいこん、ストック)には薬害を生じるおそれがあるので付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組合せて輪番で使用する。
- 本剤をキャベツに使用する場合は、薬液がかかった葉に極く微少な葉斑を生じることがあるので、使用濃度を留意すること。
- ハウス内の常温煙霧用として使用する場合は特に次の事項に注意すること。
 - ◆ 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けること。
 - ◆ 作業はできるだけ夕刻行い、作業終了後6時間以上密閉しておくこと。できれば翌朝までそのままとし、開放後十分換気して入室すること。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
- ❖ 常温煙霧においては、薬剤処理中はハウス内に入らないこと。また、薬剤処理終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- ❖ 魚毒性等：浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。水溶性フィルムで包装した製剤は吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管すること。

作成日 1995年06月15日
改訂日 2025年03月12日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ホクコースミレックス水和剤
整理番号	1169-19
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(殺菌剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓 免疫系 肝臓 精巣 卵巣)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分2 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い
H350 発がんのおそれ
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、腎臓、精巣、免疫系、卵巣の障害のおそれ
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じんを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

他の危険有害性
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

保管
廃棄

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P321)
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
漏出物を回収すること。(P391)
施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)
情報なし
情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別		混合物			
化学名又は一般名		プロシモン水和剤			
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
N-(3, 5-ジクロロフェニル)-1,2-ジメチルシクロロパン-1,2-ジカルボキシミド (一般名 プロシモン)	50.0%	C ₁₃ H ₁₁ Cl ₂ N O ₂	(5)-5250	既存	32809-16-8
鉱物質微粉、界面活性剤等	50.0%	-	-	-	-
ドデシル硫酸ナトリウム	2.2%	C ₁₂ H ₂₅ O ₄ S Na	(2)-1675, (2)-1679	既存	151-21-3
結晶質シリカ(石英)	< 3%	SiO ₂	(1)-548	既存	14808-60-7
非晶質シリカ	6.7%	SiO ₂	(1)-548	既存	112926-00-8

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪いときは、医師に連絡する。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受ける。
水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察、手当てを受ける。
直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
情報なし
ばく露による二次災害の防止。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

火災が周囲に広がるおそれがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性

火災時に有害ガスが発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は風上から行う。
火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
大量の場合は、漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて、紙袋又はドラム缶等に回収する。
回収後の少量の残留物は、土砂又はおがくず等に吸収させる。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

作業衣を家に持ち帰ってはならない。

保管

安全な保管条件

涼しい所／換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料

容器を密閉して保管すること。

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
鉱物性粉じん	$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ E 管理濃度 (mg/m ³) Q 遊離けい酸含有率(%)	0.03 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)

設備対策

取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(水和性粉末)
色	類白色
臭い	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	5.4(×5)
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	見掛け比重 0.18

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光、高温、多湿
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット(雄) LD ₅₀ > 10,000 mg/kg ラット(雌) LD ₅₀ > 10,000 mg/kg
	経皮	ラット(雄) LD ₅₀ > 10,000 mg/kg ラット(雌) LD ₅₀ > 10,000 mg/kg
皮膚腐食性／皮膚刺激性		皮膚刺激性試験(ウサギ)：中等度の刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		眼刺激性試験(ウサギ)：中等度の刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性		皮膚感作性試験(モルモット)：陰性
生殖細胞変異原性		混合物は区分2の結晶質シリカ(石英)を1.0%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。
発がん性		混合物は区分1Aの結晶質シリカ(石英)を0.1%以上含有し、混合物としては区分1Aに該当する。
生殖毒性		混合物は区分2のプロシモンを3.0%以上含有し、混合物としては区分2に該当する。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		混合物は区分1(呼吸器、腎臓、免疫系)の結晶質シリカ(石英)を1.0%以上10%未満含有し、混合物としては区分2(呼吸器、腎臓、免疫系)に該当する。

誤えん有害性		混合物は区分2(肝臓、精巢、卵巣)のプロシミドンを10%以上含有し、混合物としては区分2(肝臓、精巢、卵巣)に該当する。	
		データなし	
12. 環境影響情報			
生態毒性	魚類 :コイ	LC ₅₀ (96h)	180 mg/L
	甲殻類:オオミジンコ	EC ₅₀ (48h)	1.3 mg/L
	藻類 :緑藻	EbC ₅₀ (0-72h)	2.8 mg/L
残留性・分解性		データなし	
生体蓄積性		データなし	
土壤中の移動性		データなし	
オゾン層への有害性		データなし	
13. 廃棄上の注意			
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。	
汚染容器及び包装		容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。	
14. 輸送上の注意			
国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。	
	UN No.	3077	
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.	
	Class	9	
	Sub Risk	-	
	Packing Group	III	
	Marine Pollutant	Applicable	
	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。	
	UN No.	3077	
	Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.	
	Class	9	
	Sub Risk	-	
	Packing Group	III	
国内規制	陸上規制	非該当	
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。	
	国連番号	3077	
	品名	環境有害物質(固体)	
	クラス	9	
	副次危険	-	
	容器等級	III	
	海洋汚染物質	該当	
	航空規制情報	航空法の規定に従う。	
	国連番号	3077	
	品名	環境有害物質(固体)	
	クラス	9	
	副次危険	-	
	等級	3	
特別の安全対策		輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。	
緊急時応急措置指針番号		171	
15. 適用法令			
農薬取締法		登録番号 第14499号	
労働安全衛生法		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) ドデシル硫酸ナトリウム(2025年4月1日以降) 結晶質シリカ	

	非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)(2026年4月1日以降)
	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)
	ドデシル硫酸ナトリウム(2025年4月1日以降)
	結晶質シリカ
	非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)(2026年4月1日以降)
	がん原性物質(安衛則第577条の2)
	結晶質シリカ
	皮膚等障害化学物質等(則第594条の2)
化学物質排出把握管理促進法	第1種指定化学物質
	プロシミドン
	ドデシル硫酸ナトリウム
船舶安全法	有害性物質
航空法	その他の有害物質

16. その他の情報

記載内容の問合せ先	会社名	北興化学工業株式会社
	担当部門	企画部 環境安全チーム
	電話番号	03-3279-5151
	FAX番号	03-3279-5195

急性中毒に関する緊急の問合せ先
公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒のおそれがある場合に限る)
中毒110番 365日 24時間対応
一般市民専用電話(情報料無料) (大 阪) 072-727-2499
(つくば) 029-852-9999
医療機関専用有料電話(1件2,000円) (大 阪) 072-726-9923
(つくば) 029-851-9999
医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料 1件につき2,000円を徴収します。

注意事項
本データシートは作成年月日での製品情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。記載されている内容は、安全な取扱いを確保するための情報であり、いかなる保証をなすものではありません。特殊な条件下で使用するときは、その使用状況に応じた安全対策が必要となります。